

## ごあいさつ

札幌西高OBオーケストラ代表  
西高12期 高橋 研一

私達札幌西高校OBオーケストラ(同窓会)の演奏会もついに6回目となりました。人生において私達は10年を区切りとして歴史を感じているようですが、その意味において、このOBオケも、やま場を越えようとしているわけです。

年に一度の楽しみで集まってくる同窓の仲間が、今夜一同に会して皆様と共に楽しみを分かちあえたら、本日の6回目は、大変意義のある時となるでしょう。

又、今回、特に同窓の皆様より多数のご寄付をいただきありがとうございます。運営する側にとって、こんなにうれしいことは、ありません。今後ともよろしくお願ひします。皆様のあたゝかいはげましをうらぎらないように、増々の充実した楽しみ(演奏)をめざして行きたいと思ひます。

## ちよつと一言

西高20期 中田 昌樹

どうもこの頃、西高OBと話をすると、みんな理屈っぽく思えてならない。同期会で然り、OBオケで然り。酒が入るとさらに輪をかけて、である。今夜指揮をする小林亘君は、OBオケの世話人の中でも、突出した理屈家である。「確固たる信念で理屈をこく」彼の右に出るものは、そう見当たるものではない。しかしその彼が、彼一流の理屈を以てしても如何んともし難いものも世の中にはある。「この俺の頭の中に泉の如く湧き出る音楽が、どうしてうまく伝わらないんだべ?!」と頭を抱える君の姿が目にかぶようだよ、小林君。

でも、どあいじようぶだ、「音楽」は理屈じゃないから・・・

## オケマンのひとりごと

西高26期 小林 亘

こんなオーケストラを見た(?)ことがありますか。なにせ年に一回、それもお盆の忙しい中、全国各地からポツポツと集まってきて、たった三日間の練習で本番に望むなどという無謀なオーケストラ。

だいたいチャランボランな西高生ですから、練習初日は大変なもの。しかし、二日目、三日目と徐々にオーケストラらしくなってくる。そして本番!。どうして今まで出さなかったのか、と言いたくなるほどすばらしい音に変わるのです。このずば抜けた集中力と変貌ぶりは、とても説明などできません。きっと、ここで演奏しているみんなの頭の中では、このステージが、あのせまい音楽室になり、先生や先輩におこられながら、いろんなことに悩んでいる西高生に、すっかり戻っているのかもしれない。まあ、とにかく見て(?)いてください。